

## オ リ ー ス 通 信



受けるよりは与える方が幸いである。

使徒言行録20章35節

神愛保育園

戦争なき年を願って

新しい年が始まりました。日頃より神愛保育園にご支援とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて昨年、日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）が、ノーベル平和賞を受賞しました。1956年に結成して以来、約半世紀以上、核兵器の廃絶と原爆被害者への国家補償を求めた働きが、世界的に認められたのです。

被団協のメッセージは、「二度と広島・長崎の悲劇を繰り返さないために、核兵器のない平和な未来を目指すこと」です。しかし、いま世界の主流となっている安全保障の考え方は、核兵器はあるということが前提の「核抑止」論です。

対立する核保有国間において、互いに核兵器の使用を意図的に躊躇する状況を作り出し、結果として重大な核戦争または核戦争につながる全面戦争が回避される、という考え方です。本当にそうなのでしょうか？

今も終わらないロシアのウクライナ侵攻・・・。

核保有国であるロシアは、同じ核保有国であるアメリカやNATO（北大西洋条約機構）がウクライナへの支援（具体的には武器の供与など）を強化し劣勢を強いられると、途端に核兵器の使用をちらつかせています。

実際に戦争が始まり継続したなかで関係が膠着してしまうと出口が見えない中で、「核抑止」論が正常に働き、核兵器の使用が躊躇されるかどうかは分かりません。核兵器を持っている側は、どこかで使う可能性を追求しているのでしょうか。だから、「戦争は絶対に起こしてはならない」が大原則なのであり、「核兵器は存在してはならない」ものだと考えます。

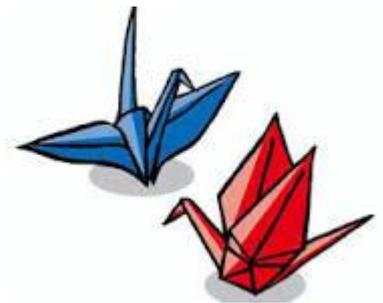
「主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。

彼らは剣を打ち直して鋤とし

槍を打ち直して鎌とする。

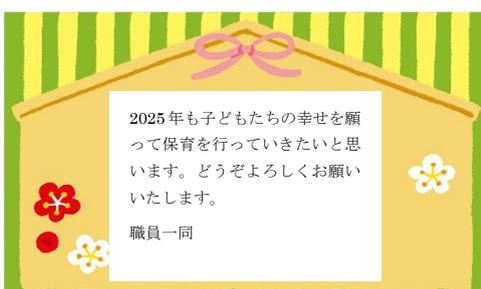
国は国に向かって剣を上げず

もはや戦うことを学ばない。」（旧約聖書イザヤ書2章4節）



私たち全てを愛して下さる神は、剣や槍（兵器）を鋤や鎌（農機具）に変えて、平和な世界を構築しなさいと宣言されます。

今年がどんな年になろうが、子どもたちの未来をつくる責任を持つ私たちは、平和を望むものとして、隣人を愛し、神に従い、生きていくものでありたいと思います。



2025年も子どもたちの幸せを願って保育を行っていきたく思います。どうぞよろしく願いいたします。  
職員一同

社会福祉法人雲柱社理事長 小磯 満

1月号は「共に育つ」乳児・幼児共にお休みです



# 食事だより



## ☆ 年末は食育行事がたくさんありました ☆

### クリスマス会食



からあげ  
フライドポテト  
星のピラフ



スポンジケーキにクリームやフルーツでデコレーション♪

### クリスマスケーキ作り

保育園全員分のおやつをつくりました！



幼児クラスのリクエストメニューで



作った子どもたちが、各クラスに届けて  
担任が目の前で切り分けたケーキを一緒に食べました。



もちつきのお話（幼児クラス）



蒸かしたもち米をボールに入れて

綿棒でつまます

### もちつき



年長さんが各クラスに出来上がった鏡餅をお届け!!

もちの丸め方を聞いて、一人ひとつずつ鏡餅を作りました

## 《おせち料理について》

『おせち料理』 新しい年をお祝いする料理です。

一つひとつに無病息災や、子孫繁栄などのおめでたい意味が込められています。

保育園で実施するメニューは 『五色なます』 がありますが、紅白の食材を使用しお祝いの水引をかたどっているとされています。

『七草』 人日の節句（1月7日）の朝に7種の野菜が入った粥を食べる風習です。



七草は、早春にいち早く芽吹くことから邪気を払うといわれました。そこで、無病息災を祈って七草粥を食べたといわれています。

また、お正月のごちそうで疲れた胃腸を労わるという意味も含まれているそうです。保育園では1月7日のおやつに七草粥を食べます。

### お知らせ

精肉業者が代わりました。仕入れている産地が数箇所あるので、産地提示の際に『国産』という表示になります。ご了承ください。



## あけましておめでとうございます

厳しくなる寒さのなか、新年が始まりました。昨年12月は中旬まで昼間季節外れの暖かさの日もあり、体調管理が難しかったと思われます。また乾燥注意報が連日出されて、加湿と保湿が必要な日々です。地域ではインフルエンザが流行期に入り、園でもかかったお子さんがいました。インフルエンザだけでなく、冬に流行する感染性胃腸炎に対しても、環境面からも対策と感染防止に努めていきます。お気づきの事があれば、お声掛け下さい。

### 【感染性胃腸炎】

冬季下痢症とも言われるこの時期に流行する胃腸炎はほとんどがウィルス性（ノロ・ロタ・アデノウィルス等）です。ピークは1月～2月でこれからの流行が心配されます。

**症状：**発熱、嘔気、嘔吐、下痢（ロタウィルスは便が白色調であることが多い）

**感染経路：**経口感染、接触感染、飛沫感染（感染力は強いです。）

**登園の目安：**嘔吐、下痢の症状が治まり、食事がとれるようになってから。

\*脱水症状に注意しましょう。

\*症状が消失した後もウィルスの排泄は2～3週間続くので、便とおむつの取り扱いに注意が必要です。

### 【真冬の加湿と保湿】

真冬は思っているよりも、身体は乾燥しています。お風呂あがりなどのタイミングで、保湿剤が使われるのもいいでしょう。コツは身体が乾ききる前に保湿剤を使う事で、皮膚への浸透が高まります。また内側からの保湿も重要で、喉が乾ききる前に、水分補給をしましょう。乾燥の目安としては、唇が乾く・手が乾燥するなどとなります。



## ひだまり

### ～地域の親子と園児の交流～



新年あけましておめでとうございます。今年も子育てひろば『ひだまり』をよろしくお願ひします。これから寒さが厳しくなってくるので体調を気を付けていきたいですね。

ひだまりでは昨年80組を超える親子が遊びに来てくれました。園児との関わりも増え「保育園であそぼう」では園内で一緒に遊んで楽しむこともできました。短時間でのかわりですが、今後も大切に重ねていきたいと思ひます。

また、食事会では普段は食べない野菜や苦手なものでも、お友達と一緒に食事をする事で、きちんと座って、いつもよりたくさん食べるなど、家庭とは違う姿を食事会では見せてくれると、たいへん喜ばれています。来年度保育園に入園希望の利用者さんは「みんなと一緒にたくさん食べてくれるといいなあ」など期待を膨らませたりしているようです。



これから感染症など増えてくる時期ではありますが、対策をしながら、園児との関わりを少しずつ増やしていけたらと思っています。

## ～絵本紹介～

新年あけましておめでとうございます。冬休みは家族みんなで楽しく過ごせましたでしょうか？園でも友だちと冬休みの出来事を話して喜んでいましたよ。いよいよ残すところ3か月となりました。

子どもたちが充実した日々を過ごせますように、心温まる絵本を紹介したいと思います。



「びっくりこたつ」 作：新井 洋行 出版社：講談社

にっこり笑顔のこたつさん。ふとんのすそから、ちゃいろいひもみたいなものがのぞいています。「こたつのなかにはなにがいる？ペろっとめくろう せーの・・・」ふとんをめくって出てくるのは、さあ、いったい何でしょう？冬はみんなで、ぬくぬく楽しいこたつ。あったかい中にもぐってみたり、人の足をくすぐってみたり、子どもにとっては、ただでさえわくわくしちゃうっておきの空間ですよ。この絵本にも、みんなが笑顔になっちゃう楽しい驚きがつまっています。こたつに家族や親戚でわいわい集まって読んだら、楽しそうですね。冬にぴったりのかわいしいかけ絵本です。

### ないしょでんしゃ

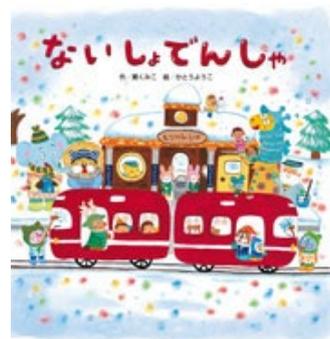
作：薫 くみこ 絵：かとう ようこ 出版社：ひさかたチャイルド

「もりのてつどう」は冬の間、雪がとけるまではおやすみです。

大掃除を終えた駅長さんがほっと一息ついていると・・・

シー ゴトン、ナイショ ナイショ・・・シー ゴトン、ナイショ ナイショ・・・

聞きなれない音を出しながら、あかいでんしゃがゆっくり走り出した！？一体だれが運転しているのでしょうか。ほのぼのとした絵とたくさんのしかけが楽しい〈あかいでんしゃ〉シリーズ。



### みんなともだち

作：中川 ひろたか 絵：村上 康成 出版社：童心社

園で友だちいっぱいできて、楽しいことがたくさんあった。卒園しても、みんなともだち ずっとずっと友だちでいてね。これは、大人が自分自身に言い聞かせている言葉だと思います。子どもは振り返る事をしません。いつも前を向いています。ですから、現実には、ずっと友だちのままでいる友だちもいれば、疎遠になって、いつか忘れてしまう友達もいるのです。だからこそ、あの、園での輝くような時を忘れないで、そんな願いが込められているように思います。

### 「おおきくなるっていうことは」

作：中川 ひろたか 絵：村上 康成 出版社：童心社

「おおきくなるっていうことは ○○ってこと」と、おおきくなるっていうことがどんなことなのかを、園長先生が教えてくれます。リズムのある繰り返しの文章と、分かりやすく可愛いイラストで、おおきくなるってこういうことなんだと、子どもにもよくわかります。「おおきくなるっていうことは ちいさなひとにやさしくなれるってこと」「おおきくなるってことは そういうこと」と園長先生に言われた子どもたちの誇らしげな顔も印象的でした。最後は園長先生が「またひとつ おおきくなった おめでとう みんな」と絵本を読んでいる子どもたちに言っています。



### きょうはたんじょうび

文：中川 ひろたか 絵：村上 康成 出版社：童心社

園長先生の言葉で、みんなはひと月に1枚ずつ、桜の木の写真をとりました。1年の間に、いろんなことがありましたね。

「おたんじょうびはなんかあった？」「1かい」みんな1年に1つだけ、大きくなります。